

# 上海かわの故

上海日本人学校浦東校  
野田 剛

平成25年11月

みなさん、こんにちは。上海日本人学校の野田です。今年も残り少なくなってきました。今年の正月、そして四月に立てた目標は達成できそうですか？『終わりよければすべてよし』ということわざもあります。年末に向けて、さらに自分の生活・学習を見直して、できることを頑張ってみましょう。さらに、自分が成長すること、間違いなしです！

前回のかわら版では、『スポーツの秋』についてお知らせいたしましたので、今回は『食欲の秋』にスポットをあててお送りしたいと思います。



さてみなさん、上海生まれの有名な食材といえば、どんな食材を思い浮かべますか？ そう！上海蟹ですね！毛ガニやタラバガニよりも小ぶりですが、一年を通してたくさ

んの人に食べられている一品です。

この上海蟹、正式な名前は『チュウゴクモズクカニ』です。かなりどうもんな蟹なので、このようにヒモでしばられて売られています。ちょっとかわいそうだなと思ってヒモを切ると、いきなり脚をいっぱいに広げ、暴

れだしました。ハサミでハサむぞろぞろというような勢いで、こちらに襲いかかってきました。命をかけているという気が伝わってきて、小さい蟹ながらも恐ろしさを感じました。



その後、なんとか鍋に入れて30分ほど煮ると、体の色を真っ赤に変えて、お目見えしました。とてもおいしそうですね。さっそく脚をもいで、甲羅

をはがすと、美味しそうなカニミソがたくさん詰まっていました。

みなさんにおみやげとして持ち帰りたいのですが、なんとこの上海蟹は『世界の侵略的外来種ワースト100』に選定されていて、生きたままの他国への持ち込みが厳しく制限されている生き物です。ぜひ、上海へお越しの際は、食べてみてください。



次回もまたお楽しみに〜！